

「統合データベースプロジェクト」(平成 18 年度～22 年度上期) 事業成果に対する ユーザー評価の結果について

平成 23 年 2 月 8 日
ライフサイエンス統合データベースセンター
ユーザー評価担当

プロジェクト開始の年から続けてきたユーザー評価も今年度で 4 回目になりました。

今回は初めて、全てのプロジェクト参画機関が外部公開用のウェブサイトなどを準備して評価に臨み、プロジェクト開始当初から今年度 9 月末までの成果を対象としました。

評価作業は専用ウェブサイト (Wiki) 上で実施し、評価者にはメール等でアクセスに必要な情報を送付し、平成 22 年 10-11 月に実施しました。

サービスの紹介の形式については、今回も前回 (平成 21 年 9-10 月実施)、前々回 (平成 20 年 7-8 月実施) 同様、簡単な説明以外に、Test Search や Show Image のボタンを用意し、実際の解析例あるいは解析結果や模式図を見る能够性を高めました。さらに前回は提供していなかった、アクセス数についての情報も付加しました。

評価用サイト : <http://lifesciencedb.jp/feedback/hyouka21/> (現在も閲覧できます)

前回と比較した今回の評価結果に関する概要は以下の通りです。

1. 評価者について

評価者の総数(職業、専門分野選択の総数)は前回の 1.3~1.4 倍になりました。評価依頼者数は 291→477 名と増加しているので回答の割合は下がっていますが、評価登録者数の増加ほどには回答者数が伸びないのはここ数年同じ傾向です。いろいろなユーザードメインからの意見募集をするために、学会等での呼びかけで募集している評価者には学生の方が多いのですが、実際には学生の方が回答している件数は少ないことも回答率を下げる一因と思われます。一方で、回答数が伸びているのが、ポスドク・研究員、民間企業の研究・開発の方で、分野についても基礎研究が大きく伸びました。

職業について(複数選択可) (人)		
選択肢	今回	前回
学生	3	4
ポスドク・研究員	27	14
教員(助教～教授)	45	36
教育機関職員	2	0
公的研究機関 研究・開発	13	11
公的研究機関 その他	4	4
民間企業 研究・開発	33	24
民間企業 その他	9	10
その他	2	2
合計	138	105

専門分野について(複数選択可) (人)		
選択肢	今回	前回
医薬・診断薬	28	20
食品・農業	17	10
化学・化成	1	4
基礎研究	64	23
バイオその他	39	39
情報システム・IT	13	17
機器・製品	1	2
マスコミ・出版	0	0
その他	4	2
合計	167	117

2. 5 段階評価について

5 段階評価の対象が、前回は個別のサービス (34 件) であったのに対して、今回は機関ごと (DBCLS のみサービスを 5 つに分類して対象としました) で件数も 20 件であったので、件数あたりの投票数はややばらつきはあるものの大きくは変わりませんでしたが、回答者数が伸びていることを考慮すると回答者あたりの投票数は減少しています。これは各機関のページで紹介されているサービスが複数あることから、実質的には紹介されたサービスの総数が増えており、評価にかかる時間がさらに多くなったためもあると思われます。

投票内容の傾向としては、「かなり役に立ちそうなので、今後も進めてほしい」と「それなりに役に立ちそうなので、できる範囲で今後も進めてほしい」の割合の合計は変わりませんが、「それなりに…」の割合が今回はやや多くなりました。

		かなり役に立ちそうなので、今後も進めてほしい	それなりに役に立ちそうなので、できる範囲で今後も進めてほしい	責任をもって評価できない	あまり役に立たなさそうなので、今後は進めなくともよい	まったく役に立たなさそうなので、やめたほうがよい	総投票数
今回	投票件数	294	412	242	50	9	1007
	割合	29.2%	40.9%	24.0%	5.0%	0.9%	100.0%
前回	投票件数	564	591	440	48	17	1660
	割合	34.0%	35.6%	26.5%	2.9%	1.0%	100.0%

3. コメントの内容

コメントは特に対象を指定しない自由記述形式ですが、前回は個別のサービスごとに欄を設けたのに対し、今回は機関ごと（DBCLS のみ 5 分類）のページに 1 つの欄を設けました。コメント総数は前回 204 件に対し、今回は 207 件とほぼ変わりませんでした。前回のものと今回のもの内容を比べることはなかなか難しいですが、以下の点がいくつかのサービスについて共通に指摘されていました。

- ・使い方の説明やマニュアル等の整備が必要

(今回初出のサービス等については準備不足のものがあり、必要かどうかは別途議論を要するものの開発者向けのサービスについては一般ユーザー向けの説明が不十分なものがあった)

- ・サービスの内容は良いものであっても、ユーザーへの浸透がまだまだであって、今後はコミュニティへの周知（アナウンスやアピール）が課題

(初めて知ったというコメントもあり、サービスそのものを知つてもらう手段としてもこの評価作業を考えているので、その点では効果があったとも言える)

また、ユーザー評価開始当初にいくつか見られた感情的なコメントではなく、内容について賛同あるいは提言のあるコメントが多いように感じました。

個別のサービス等に関するコメント及び開発者からの回答は以下の URL からご参照いただけますよう、よろしくお願ひいたします。

H18~22 年度上期「統合データベースプロジェクト」事業成果に対する外部評価の結果

<http://lifesciencedb.jp/feedback/hyouka21/?result>

【ご参考】

H20 年度「統合データベースプロジェクト」事業成果に対する外部評価の結果

<http://lifesciencedb.jp/feedback/hyouka20/?result>

H19 年度「統合データベースプロジェクト」事業成果に対する外部評価の結果

<http://lifesciencedb.jp/feedback/hyouka19/?result>

H18 年度ライフサイエンス DB 統合の進め方へのユーザー評価の結果とその対応

http://lifesciencedb.jp/feedback/hyouka18/hyouka_H18.html

以上